Ｓｈｉｅｌｄｉｎｇ積分テストＷＧ
1990年度 第２回会合 議事録（案）

日時　：１９９１年3月２０日（水）　１３：３０～１６：３０

場所　：㈱東芝 ７階 ７７会議室

出席者　：川合（東芝）、菊池、長谷川、桜井（原研）、大谷（動燃）、佐々木（三菱原子力）、角田（三菱総研）、竹村（川崎重工）、山野（住友原子力）　以上９名
〈敬称略・順不同〉

配布資料：SB-91-1:SHIELDING BENCHMARK TEST OF SODIUM AND IRON CROSS SECTIONS IN JENDL-3T (Proc. of Nuclear Data for Science and Technology,1988,MITO)[川合委員]
SB-91-2:JENDL-3遮蔽積分テストの報告書原稿の作成　[佐々木委員]
SB-91-3:コンクリート透過実験解析　[角田委員]
SB-91-4:Shielding積分テストＷＧ 1991年度 活動計画（案）　[山野委員]
SB-91-5:加速器遮蔽における核データ利用の現状と今後の課題　[山野委員]

議事　：

１．前回会合(1990年5月11日)議事録(案)の確認がなされた。

２．ＪＥＮＤＬ－３遮蔽積分テストの英文報告書の原稿について、執筆状況の報告が各委員よりなされた。

川合委員　：資料SB-91-1の報告を基に担当分を執筆中であり、次回会合で報告する。

佐々木委員：資料SB-91-2の説明があり、基本的な内容について承認された。図のトレースを含む修正原稿を次回会合で報告する。

竹村委員　：計算に用いたJSSTDLのウラン定数に一部不都合があり、再計算の方向で検討中である。結果は次回会合でまとめて報告する。

大谷委員　：担当分は議論の部分なので、各担当委員の原稿がまとまった時点で執筆する。その際に、独自に行った成果も反映させる。

長谷川委員：ASPIS,Broomstickについて執筆中であり、次回会合で報告する。

山野委員　：KfKの結果で、24keV以下の差異を検討中である。FNSの実験結果の追加解析を含め、次回会合で結果を報告する。

桜井委員　：結果は川合委員とまとめて報告したいので、原稿を川合委員に送付する。

今回の会合に出席しなかった各委員には、山野委員より問い合せることとした。
執筆の際の注意点として、原稿の最後には、後の議論で用いるために、問題点／注意点／結論を必ず記載することとし、また、書式はMS-DOSテキスト形式のフロッピーに格納し、山野委員まで送付する。その際に、後の編集を容易にするため、参考文献は /ref.X.X.X-Z/ の形式で統一する。(X.X.X は章.節.項番号、Z は文献の通し番号)
原稿締切は７月に開催予定の次回会合までとする。次回会合で各委員の原稿を基に議論の部分を検討する。

３．角田委員より、資料SB-91-3の説明が行われた。本問題はＯＲＮＬ－ＴＳＦを用いて実施されたコンクリートの透過問題であり、JENDL-3とENDF/B-IVの両者を用いた結果の4～8MeVの差異について議論された。原因はコンクリートではなく鉄の可能性があり、次回会合までに問題点を明らかにするとの報告がなされた。

４．山野委員より、資料SB-91-4,SB-91-5の説明が行われた。平成３年度活動計画として、英文報告書の作成、二次ガンマ線ベンチマーク解析の他に、加速器遮蔽設計に用いられるThick Target Yield、加速器遮蔽計算用中性子群定数の検討に着手するとの提案がなされた。また、核データ評価専門部会の荷電粒子核データＷＧの活動計画についての補足説明が菊池氏よりなされ、本ＷＧの作業は荷電粒子核データＷＧの作業と相補的な関係を保ちながら実施してもらいたいとの要請があった。

５．以上の報告の後、全委員で議論を行い、本年度作業案について、次回会合で再度検討することとした。
なお、次回会合には、加速器遮蔽の専門家である高エネ研、平山氏に加速器遮蔽設計の現状について講演して頂くこととし、山野委員が協力をお願いすることとした。

次回会合予定：１９９１年7月１９日（金）　１３：３０～１７：３０
日本原子力研究所 本部　会議室

次回予定議題：１）ＪＥＮＤＬ－３遮蔽積分テスト報告書原稿の説明（各委員）
２）ＯＲＮＬ　１４ＭｅＶ　ＳＵＳ３０４体系
二次ガンマ線ベンチマーク問題の解析結果（桜井委員）
３）ＯＲＮＬ　ＴＳＦ　コンクリート透過問題の解析結果（角田委員）
４）二次ガンマ線ベンチマーク問題解析結果（担当各委員）
５）加速器遮蔽設計の現状について（講師：平山氏）
６）１９９１年度活動計画について
７）その他

以上